

令和5年度 名寄市議会 「市民との意見交換会」実施報告書

名寄市議会では、議会及び議員の活動について理解を深めてもらうとともに、市政全般にわたって、議員及び市民が意見を交換するため、「市民との意見交換会」を開催しています。

今回の意見交換会は、2班体制とし、7月10日、12日、13日及び14日の4日間、市内4会場で開催しました。開催に当たり、より多くの市民の皆さんにご参加いただくため、『議会だより かわら版』を作成し、公共施設に掲示したほか、市内報道機関に対する記事掲載・ラジオ放送の依頼、市議会ホームページによる日程周知、さらには全議員が1人20枚の案内チラシを市民の皆さんに配布し、参加を呼び掛けました。また、町内会長をはじめ町内会の役員の方々にも周知にご協力いただくなど、ご協力くださいました皆さんには心からお礼を申し上げます。今回の意見交換会には、延べ61名の参加がありました。ご参加いただき、誠にありがとうございました。

ご参加の皆さんからは、空き家対策、地域公共交通、中心市街地の活性化などに対して、ご意見やご要望などを数多くいただきましたことに、深く感謝を申し上げます。

お寄せいただいたご意見やご要望などについては、正副議長・議会運営委員会正副委員長が行政に対して本実施報告書により情報提供を行うとともに、議会だよりや市議会ホームページなどで市民の皆さんにお知らせいたします。

「市民との意見交換会」を開催することで、市民の皆さんとの情報共有を図り、市民の皆さんの貴重な声を政策提言できるよう努めてまいりますので、今後ともご参加いただき、ご意見等をお寄せいただければ幸いです。

結びに、市民の皆さんが将来に希望を持てる名寄市の実現に向け、「市民に開かれた議会」を基盤とし、これからも議会運営及び議員活動の活性化を図ってまいりますので、引き続きご理解、ご協力をくださいますようお願い申し上げます。



【議員の所属体制】

《A班》(担当・・・智恵文多目的研修センター、駅前交流プラザ「よろーな」)

班長 山田 典幸 (議長)

高野美枝子 (議会運営委員会副委員長、総務文教常任委員会副委員長)

高橋 伸典 (市民福祉常任委員会委員長、議会報特別委員会副委員長)

清水 一夫 (経済建設常任委員会副委員長、議会運営委員会委員)

佐藤 靖 (市民福祉常任委員会委員、名寄市監査委員)

富岡 達彦 (市民福祉常任委員会委員、議会報特別委員会委員)

水間 健詞 (経済建設常任委員会委員、議会運営委員会委員)

中畠 孝幸 (総務文教常任委員会委員、議会報特別委員会委員)

《B班》(担当・・・名寄市民文化センター、ふうれん地域交流センター)

班長 倉澤 宏 (副議長、経済建設常任委員会委員)

遠藤 隆男 (議会運営委員会委員長、総務文教常任委員会委員)

東川 孝義 (総務文教常任委員会委員長、議会運営委員会委員)

山崎真由美 (経済建設常任委員会委員長、議会運営委員会委員)

今村 芳彦 (市民福祉常任委員会副委員長、議会報特別委員会委員)

東 千春 (経済建設常任委員会委員)

川村 幸栄 (総務文教常任委員会委員、議会報特別委員会委員長)

谷 聡 (市民福祉常任委員会委員、議会運営委員会委員)



【意見交換の主な内容】

各会場における意見交換の主な内容は次のとおりです。

7月10日（月）智恵文多目的研修センター 参加者10人

◆任期中の抱負について

問 今回、無投票選挙で終わったが、任期中、どのようなことをやりたいと考えているのか教えてほしい。

答 市内で働く人が農業で働けるような環境を作っていきたい。

答 農業に絞って、4年間しっかり調査等をしていきたい。

答 健康寿命の延伸、フレイル予防について、市民の皆さんと一緒に考えていきたい。

答 分野問わず、引き続き地域のコミュニティを守り、課題解決に取り組みたい。また魅力ある議会を目指し、若い世代や女性に関心をもってもらう。議会が活発になることで、名寄のまち、市政も活発になる、地域が活発になる。そういうものに繋がっていくのも使命だと思っている。

答 高齢者、障がい者、子供たちが名寄で暮らして良かったという政策を進めていきたい。

答 誰もが住みやすい、住み続けられる名寄市を作っていくための活動をしていきたい。

答 名寄市立大学を発展させること。豊かな環境、農作物を活かして多くの人を呼び込んで活性化させること。宗谷本線を旭川から稚内まで利活用して残すことなどを議会で訴えていきたい。

◆熊対策について

問 猟友会は若い人が少なくなってきたと思う。通学する子どもたちの安全確保を考えると、黄色い看板の設置だけで終わるのではなく、何かほかの熊対策はないか。

答 猟友会も高齢化だったりやめられる方がいるが、後の世代がいない。市単独ではなかなか難しい部分もあり、北海道でのヒグマ対策などの根本的な対策が必要になってくると思うので、地域からの意見として担当部署に伝え、引き続き対策をとっていくよう申し伝える。

◆土砂等の除去について

要 智恵文道道の泥水が私道に流れ、その堆積物の土砂等を個人で除去している。土木現業所に話してほしい。

答 現地確認をして土木現業所に状況を伝える。

◆屋内施設の設置について

要 冬場屋内でサバイバルゲームを楽しめる施設がほしい。屋内でできれば市外からも人が集まると思う。

答 屋内施設のある他市の状況、設置経緯など調査させていただきたい。要望があったことは担当部署に伝える。

◆保育所の統合について

問 今、認定こども園が建設中だが、将来的に保育所の統合はあるのか。智恵文地区にも子どもがいるので、智恵文地区の保育所は存続してほしい。

答 西保育所と南保育所を統合して、今、認定こども園を建設中だが、今のところ智恵文保育所の統合の話は出ていない。

◆木の伐採について

問 智恵文支所のところに大きな木があり、近隣の住民は倒木の恐れを心配し、安心して眠れないと言っている。伐採したいと思うが、行政の力を借りたい。

答 保育所を管轄している健康福祉部と調整している。今後、高所作業車を使った作業をすることになっている。

◆災害時の対応について

問 先日、智恵文の一部地域で停電となった。酸素ポンベを使用している高齢者がいたが、個人情報保護のため停電情報が伝わらなかった。緊急時に対応できるようにしてほしい。

答 計画停電情報については北電のことなので言えないが、災害時には個人情報を提供することができる場合がある。自然災害時の行政支援は難しいので、地域住民の方のご協力をお願いしたい。

◆国道40号の草刈りについて

要 国道40号の草刈りが遅い。熊の出没もあるので早急に対応してほしい。

答 国は予算の関係で進まないのかもしれない。市民の方から北海道開発局に直接連絡をしていただいた方が良いと思う。

◆電子地域通貨について

問 電子地域通貨を開始するという事だが、皆に使ってもらえるような素敵な見通しがあるの事業なのか。

答 今、商工会議所や商工会などが中心となって加盟店を集めたり、いろいろ検討している。市も地域活性化企業人を活用し進めている。いろいろな面で地域でお金を回せるような状況にしていきたい。

◆グラウンド整備について

要 新しくできる智恵文小中学校に鉄棒や滑り台、ブランコ、雲梯などを設置してほしい。

◆災害対策について

問 八幡地区、智北地区の下の方だが、土砂災害の対策ができていないと思う。智恵文地区だけではないのは承知しているが、できるところから進めてほしい。

答 災害避難については対応マニュアルもできているし、市でも防災情報が伝達する段取りになっている。

要 ^{めいきよ}明渠排水の整備等は地元の人たちで対応しているが、排水機場が老朽化しているので定期的に確認して、直すところは直してほしい。

7月12日（水）駅前交流プラザ「よろーな」参加者10人

◆無投票選挙について

問 今回の市議選について、無投票に至る要因について聞きたい。

答 若い方のなり手不足は地方議会の全道、全国の大きな課題だが、やはり議会活動が市民の皆さん、特に若年層に見えていない。我々の活動が魅力的に感じられていないのも要因の一つだと思う。議会活性化特別委員会を設置したので、情報開示をしっかりとし、何が要因なのかも検証する。

答 私は初めて立候補する新人議員。今回は市民にとって選択の余地がなかったが、立候補する側としては訴えたいことができなかった。名寄にUターンして2年目、ブツブツ文句を言っているよりも議会で発言したいと思い、立候補した。議会に興味を持ってもらえるような活動をし、多くの方に関心を持ってもらうことから始まるのかと感じている。

◆会計年度任用職員について

問 何十年も働いている臨時職員（会計年度任用職員）がいる。若い人ばかりではなく、元気の良い高齢者がいることも考えて、ある程度任期を決めていろんな人が働けるようにしてほしい。

答 職員の採用に関しては、議員は不介入。議会基本条例で定められているのでご理解いただきたい。要望があったことは伝える。

◆道路への雪出しについて

意 以前、道路への雪出しについて一般質問をしていたが、市の回答は違反の事実を証明するには証拠が必要だと言っていた。スマートフォンやデジタルカメラで撮影し、LINEやメールを市に送れば証拠は残る。市は対応しようと思えばできるはず。

答 関係部署は当然認識していると思うが、意見・提言として伝える。

◆ゴミ収集ボックスについて

問 歩道の上にゴミ収集ボックスを置いているのを見かけるが、今のままで良いと思っているのか。何とも思わないのか。あれは市として許可をしているのか。

答 設置するために許可を出すという話は聞いたことがない。

◆歩道の段差について

問 歩道や車庫前の段差や傾斜が歩きづらいし、雪が降ると固まる。これについては許可しているのか。

答 車庫前の傾斜部分の許可については、対処法があるのかも含めて確認する。

◆外国人介護職員について

問 外国人材の受け入れで、ネパールから3名の介護職員が清峰園で採用されたが、

働けているのか。

答 町内会の方などといろんな部分で交流を持ちながら、働いていただいている。

◆まちづくりについて

問 図書館をどこに建てるかいろいろ検討されているようだが、まちづくりについて議会の中では勉強会など行っているのか。

答 当時の総務文教常任委員会では先進事例を視察し、実際話を聞いたり見てきたりした。それを委員会の中で整理し、単体ではなく人が集まる仕掛けとし、民間活力も利用した複合施設が望ましいと協議し、提言した経緯がある。

◆宗谷本線の存続について

意 個人的には宗谷本線存続の可能性はないと思っている。バス転換ならどうやったらできるか、バイパスが繋がれば路線はいるのか等、そういう議論をする時期に来ていると感じる。そういう意見があっても良いと思う。

答 いろいろな考え方があると思うが、宗谷本線を残していく方向で、宗谷本線活性化協議会、沿線自治体が連携し協議しながら進んでいる。そういう意見があったことは伝える。

◆人口減少について

意 人口減少により働く人がいなくなるとまちの活性化がなくなり、限界集落のようになる。今後議会の場で、市はどのように考えていくのか話をしてもらえると、議会も行政もきちんと考えているんだなと市民の安心感に繋がる。

答 将来の名寄市の在り方をみた中で、人口減の対応、人手不足、高齢者が地域でできることなど俎上に上げて議論していきたい。

◆インバウンド需要の取り込みについて

問 雪質日本一を謳っている名寄ピヤシリスキー場に、インバウンドを取り込めないものか。取り込む努力はしているのか。ジップラインというアウトドアアクティビティがあるが、夏のピヤシリスキー場でできないか。

答 インバウンドを呼び込むため SNS での発信、各スキー場と連携した共通チケットの販売等取り組みは行っており、今シーズンは外国人の姿が目立った。夏場についてはヒルクライムやサバイバルゲームなどイベントを行っている。ジップライン

についての意見は市に伝える。

◆名寄市の活性化に対する考えについて

問 今回新しく中畠議員が外から来られて議員になった。活性化という観点でどのような認識、アイデアを持っているのか聞きたい。

答 名寄の夏の環境、食べ物・農産物の美味しさ、また雪質日本一フェスティバルやアスパラまつり、産業まつりなど道外に発信して名寄の良さをアピールし、たくさんの人を呼び込んで活性化したら良いと思う。

◆意見交換会の参加者減について

問 なぜ、今回の意見交換会の参加者が激減したのか。市民の意識、問題意識が低いのか、それとも議会に対する期待値が低いのか。

答 本議会に対する市民の関心バロメーターであると改めて認識している。意見交換会の在り方、周知を含め検証したい。もっと市民の皆さんに関心を持っていただく活動に取り組んでいく。

7月13日（木）名寄市民文化センター 参加者 15人

◆一般質問について

問 6月の定例会で、議員16人のうち一般質問をされたのは8人。全員に一般質問をする権利があると思うが、会派での人数制限があるのか。

答 会派の中で質問内容が重複しないような調整はするが、人数制限はない。

◆駅前広告塔について

問 駅前の広告塔の時計と温度計が用をなしていない。名寄市のシンボルとして何とかならないのか。

答 電光掲示板については、当時の部品がなく整備を見送ってきた経過がある。温度計については対応が可能かどうか担当部署に確認する。

◆中名寄地区の橋梁について

要 中名寄地区の橋梁の塗装がほとんど剥げている。ペンキを塗ればまだまだもつと思うので、整備をしてほしい。

◆スマートゲートの導入について

問 ピヤシリスキー場にスマートゲートを導入することになったと聞いた。人件費が浮いてもメンテナンスに費用がかかると思う。市からどのような説明があって、議会として承認したのか。

答 導入にあたっての質疑等は行っていないが、導入のメリットに着目し判断した。

◆縁石について

要 縁石のある歩道と歩道の切り下げ部分の段差がきつく、お年寄りや車椅子では上がったり下がったりするのが大変。縁石をつけなくて、車道と歩道との段差をなくしてほしい。

答 縁石の高さがあるのは車道と歩道を完全に分けて、歩行者の安全を最優先にしていると聞いている。ただ、意見は担当者に伝える。

意 伝えるだけなら議会の役割が果たせないと思う。行政に質問するなり訴えるようにしてほしい。

◆道路排水について

意 1 排水が道路の両脇に付いているが、流れる状態ではない。それであれば真ん中から排水するようにしたほうが合理的だと思う。

意 2 道北藤田生鮮市場から下水道終末処理場の道路は真ん中に排水が入っているが、機能していない。逆に中がくぼんでいて傾斜がきつく、ハンドルがとられる。

意 3 道北藤田生鮮市場から下水道終末処理場の道路は簡易舗装だから機能していない。これから改修する舗装道路があれば検証してほしい。

◆空き家対策について

問 例えば、空き家になって出て行く時に市が話をしたり、関係業者や家を必要とする方に空き家のリフォーム金額がいくらになるのかなど、市だけではなく議員の方々も建設関係や工務店、いろんな機関の方と話し合っって情報収集や情報提供をするなどして取り組んでほしい。

答 空き家になった後、連絡がつかないのが実態。転居される際に、相続人の方に今後の建物の取り扱いについて相談窓口を設置するなど、システム的に整備していく必要がある。まずは空き家を作らないのが第一歩だと考える。先進地の事例、取り組みを参考にしながら行政にも提言していきたい。

◆空き家の取り扱いについて

問 連絡がつかない、誰の建物かわからないという空き家は、固定資産税はかからないのか。

答 家が建っている以上は固定資産税はかかる。ただ、件数は多くないと思うが課税保留状態という建物・土地があるのは事実だと思う。

問 誰の建物かもわからない、固定資産税も未納となると、その建物は名寄市のものになるのか。

答 市のものになるということはない。

◆中心市街地の活性化について

問 中心市街地の活性化なくして公共施設を中心市街地へもっていくという発想はどうか。商店街の後継者問題、再開発事業の取り組みなどを検討し、中心市街地の活性化と合わせた議論をしていかないと、市民に理解されないのでは。議会としてデータを集めて、それに対する一般質問を期待したい。

答 今、都市計画マスタープランの中で、都市機能誘導区域、居住誘導区域と区域設定がされ進められている。今後、公共施設を作っていく中で人口の問題もあり、延べ床面積を13%削減し、いろいろな形のものが検討されていくと思う。議会としても公共施設と合わせてまちづくりをどのようにしていくのかを含め、先進地のデータを集めながら、しっかりと提言していきたい。

◆道立高校の跡地について

問 道立高校だから名寄市としてはあまり言えないだろうが、名寄産業高等学校、名寄農業高等学校の跡地活用について、名寄市としての意見や提案をきちんとしていく必要があるのでは。議会としても研鑽^{けんさん}を深めて提言してほしい。

答 道立高校なのでなかなか難しいが、名寄市ではどうか、という提言はしっかりとしていく必要がある。

◆次期中間処理施設整備について

問 人口が減少する中で、この事業は推進していけるのか。他の町村も人口減少が顕著になっていく中で、名寄市がこの部分を負担していくのか。疑問にも思うし心配。

答 名寄市、下川町、美深町、音威子府村の4市町村の自治体で構成されている名寄地区衛生施設事務組合の事業となるが、現状の設備は非常に老朽化している。そ

れにかかる補償の問題、安全処理が課題の一つ。名寄地区広域最終処分場も当初の計画よりかなり処分量が上回っているため、次期中間処理施設に燃焼設備を導入し、名寄地区広域最終処分場に持っていくゴミを減らす。将来的なことを考えて、今の設備が止まると処理ができなくなる。構成市町村の中で理解をいただいて進めている。

◆草木の処理場について

要 草や木は名寄地区広域最終処分場に持ち込んで捨てていたが、別に捨てる施設を作ってほしい。

◆議会だよりについて

問 構成上大変かもしれないが、市の広報と議会だよりで、左綴じ、右綴じ、縦書き、横書きと統一されていないので、統一することは可能か。

答 市の広報と議会だよりの統一は別な議論になる。議会だよりの構成については、今後他の自治体の取り組みを視察させていただき、検討していきたいと思う。

問 市広報や議会だよりでは、カタカナ文字が増えていて意味が分からない。括弧書きをしてほしい。

答 議会だよりでは極力カタカナや難しい言葉は使用しないように編集しているつもりだが、今後もお気づきの点があればご指摘いただきたい。

問 土別の議会広報はカラー版だが、名寄も参考にしてはどうか。

答 土別の議会広報は民間に委託をしている。名寄市議会だよりは議員の中で工夫をしながら進めているので、ご理解いただきたい。

◆介護人材養成の費用助成について

問 ヘルパー介護人材養成の費用助成として、今後、市の方で受講料を負担してもらえないのか。

答 介護人材の確保や離職防止のため、現在も受講費用の助成をしている。

◆駅前商店街について

問 駅前商店街の店舗が減少しているが、このまま減少していくのを黙ってみているのか。このままだと困るのは高齢者で、買い物難民になる可能性が出てくる。

答 高齢者の買い物手段としての商店街の役割は十分認識している。各個店で工夫をしながら魅力ある店づくり、また市では中心市街地における商店街への補助、商工業者への助成制度を持っているので、今後も商店街の活性化に向けた取り組みについては議会としても議論をしていきたい。

◆ピヤシリスキー場の宣伝について

意 名寄市は雪質日本一を謳^{うた}っておきながら、宣伝をしているようには感じない。SNS等を活用して宣伝したら集客になると思う。

答 スマートゲートを導入したので、国内外インバウンドを含めてPRしていく必要があると認識している。

◆家屋の売買について

問 名寄市やその他周辺の市町村が衰退していくと、ほかの町に移住したくなる。一軒家を持っているが、移住する際に家が売れなかった場合、市で何か対策してくれるのか。

答 売買について、市の支援制度というのは難しい問題だと思う。

◆議会及び議員の役割と権利について

問 市長は執行権があり、議会は議決権がある。要は、議会には執行権はないが、執行者に対して執行をさせる権利がある。議会意思として執行をさせていく提言をしなければ、意見交換会の意味がない。議会及び議員の皆さんの役割と権利をどのように押さえているのか聞きたい。

答 議会としてあるいは議員として、行政監視や政策立案を目標にしながら、また若年層や女性が議員活動に参加できる体制についてどのようなことが必要なのかも含め、議会活性化特別委員会の取り組みの中で議論を深め、活動を進めていきたい。

◆意見交換会の議員答弁について

問 今回の意見交換会に8人の議員がいるのに、質問に対して同じ人しか答えていない。他の人はなぜ答えないのか。

答 実は役割分担があり、基本的には所管常任委員会の正副委員長が答えるという建付けとなっている。

◆少子高齢化について

問 少子高齢化についてどう思うか。

答 先日、給食費無償化、小中学生の医療費無償化について一般質問をした。これ以上子ども達が減っていくと、名寄市が無くなるという危機感を持っている。今後も取り上げていきたいと思っている。

◆コンビニエンスストアでの証明書取得について

要 先日、戸籍証明書や印鑑証明書をコンビニエンスストアで取得しようとしたら、名寄市では行っていないから、市役所で取得するよう言われた。今後、コンビニエンスストアで取得できるようになるのか、行政に確認してほしい。

答 確認して回答する。

7月14日（金）ふうれん地域交流センター 参加者26人

◆不登校児童生徒への取り組みについて

問 一般質問の中で、不登校児童生徒の状況が明らかになった。その対応として、別室で児童のニーズに合った取り組みや遠隔授業、校内体制の強化や相談体制の強化、またスクールソーシャルワーカーと連携をして進めているとのことだが、保護者への対応は月1回程度と聞いている。現場でどうなっているのかを追及してほしい。議員として相談の場面に同席するなどの取り組みはあるのか。

答 不登校児童は増加している。心の教室相談員も配置され、教育相談センターほつと21でも対応している。議員が保護者との相談の場面に入ることは必ずしも良いことには繋がらないと考えているが、地域の一人として一緒に取り組みを進めていくような人間関係が構築されていく中で、必要であれば相談を受けさせていただき、様々な意見をいただきながら取り組む。

◆福祉団体のサバイバルゲームの開催について

問 障がい者を呼び込んで「バリアフリーサバゲー体験」がサンピラー温泉駐車場の横で開催されるようである。社会福祉協議会の関与や名寄市の土地を利用して模擬戦争のような遊びを行うことは、名寄市の非核平和都市宣言において適当とはいえないのではないか。

答 サバイバルゲームは観光庁の補助事業を活用し、なよろ観光まちづくり協会が主体的に取り組んでおり、ふうれん望湖台自然公園では新団体が定例会的に行っている。当該催しについてはそれぞれいろんな考えがあり、議会として統一した見解は難しいと考えているが、関係団体とのやり取りの中で企画の計画も含め、モデル事業なのか、継続的に行っていくものなのかも含めて確認をしたい。

◆公共施設の利用料について

問 老人クラブとして公共施設を利用しているが、利用料の負担が大きい。何か特別な免除はないのか。

答 公共施設の利用料は条例によって定められており、社会教育団体や老人クラブは5割減免を行っている。市が主催、共催する事業であれば10割減免であるが、一般の方が利用する中では最大の割引料となっている。

◆公共施設利用者数の制限について

問 コロナウイルス感染拡大時に公共施設の利用者数の制限がかかったが、現状はどうなっているのか。制限解除の市民周知が不足しているのではないか。

答 現在、市としては制限をかけていないと考える。周知をしている場合もあると思うが、担当部署にも利用者への周知徹底について確認したい。

◆タブレット端末の運用について

要 GIGA スクール構想で導入したタブレット端末だが、運用時に処理速度が遅く、子ども達から不満の声が上がっている。運用面が追い付いていないので、精査してほしい。

答 正直、認識不足だった。委員会の中でしっかりと確認をしてお答えさせていただく。

◆名寄市キャラクター「なよろう」について

意 名寄市のキャラクター「なよろう」をもっと有効活用をし、名寄市の認知度向上に取り組む必要があるのではないか。どんどん「なよろう」を発信するべきだ。

答 スタート時と比較すると、運用不足の面はある。名寄のシンボルとして活用することは非常に大切なこと。今後の中でしっかりと対応していきたい。

◆風連地区の排雪について

問 合併後、風連での排雪の回数が増えとなり、幹線道路3回、生活道路2回行っている。昨年12月の大雪で小学生が道路の真ん中を通学するなどの状況が見受けられたが、見直すべきではないか。

答 除排雪に関しては毎年多くの意見が寄せられている。その都度危険度を判断して担当者も対応している。除排雪は業者も交えて計画をしており、予算もあり難しい課題だが、委員会の中でも確認していく。

◆市営住宅の空き部屋について

問 西町団地や北斗団地など、空き部屋が多い。改修を行い、居住させて家賃を得るべきではないか。

答 意味なく空いているわけではなく、次の入居に向けた準備、公募をかけている。そのタイミングでの入居希望者が少ないといった状況ではあるが、委員会の中で検討したい。

◆名寄市立大学生に対する支援について

問 学生の居住が地域の活性化に繋がると感じている。学生に対する支援として、居住やバス、買い物の優待など、名寄市に住んで良かったと心に残る施策展開が必要ではないか。

答 要望として受け止める。学生が衣食住を含め、名寄で使うお金が年間9億円ほどの経済効果がある。また、多くのボランティア活動やアルバイト活動を通じて名寄市へ大きな貢献をしている。名寄市に住んで良かった、と次に繋いでいただけるようなアプローチはしっかりしていきたいと考えている。

◆地域公共交通について

要 特に農村部の交通の便が悪く、お年寄りの足の確保が難しくなっている。AI活用型オンデマンド交通の導入について説明があったが、10月からの実証実験開始にあたり、これがずっと続いていくのか。また農村部にも当然普及しなければならぬことだと思っているが、玄関から玄関までの交通が求められる。議会としてもそのことを含めて進めてほしい。

答 10月からテスト的にAI活用型オンデマンド交通が運行される。農村部も含め、どのような形になっていくのかをしっかりと行政と話ししていく。

◆マイナンバーカードの運用について

問 マイナンバーカードの運用ミスが報道されており返納者も多いと聞く。名寄市ではトラブルがないと聞いているが、個人情報の漏洩や詐欺事件の可能性も心配で不安だ。国に言うことだとは思いますが、マイナンバー制度を見直すべきだと思うが、名寄市議会としてどのように考えているのか。

答 国の制度であり、デジタル化が進む中でしっかりと進めていけば問題はないと思うが、使用者が安心して利用できる運用を求め、意見書の提出で対応したい。

◆コロナウイルス感染状況について

問 他の市では学校祭をきっかけにコロナウイルス感染者が増えていると報道があった。市内でも大学や高校で学校祭が実施されたが、感染状況の情報はあるのか。

答 2類から5類に変わったとき、コロナウイルス感染症の扱いが変更になり、報告がなく把握できていない。ただ、子ども達や保護者と接している中で、感染拡大の情報は今のところ伝わってきていない。

令和5年度「市民との意見交換会」アンケート結果

ご回答いただきましたアンケートの集約結果は次のとおりです。また、ご回答いただいた市民の皆様は55人で、回答率は90.2%となっています。

※（ ）の数字は回答者数です。

問1 あなたの年齢は？

- ①10代(0人) ②20代(0人) ③30代(3人) ④40代(3人)
⑤50代(8人) ⑥60代(12人) ⑦70代以上(18人)
⑧80代以上(11人) 未回答(0人)

問2 あなたの性別は？

男(45人) 女(9人) 未回答(1人)

問3 今回を含め、これまでに『市民との意見交換会』及び『議会報告会』に何回出席したことがありますか？

- ①初めて(14人) ②2回(7人) ③3回(11人) ④4回(8人)
⑤5回以上(15人) 未回答(0人)

問4 今回の『市民との意見交換会』の内容はどうでしたか？

(全体的に) ①よかった(19人) ②ふつう(25人) ③よくなかった(2人)
未回答(9人)

(報告内容は) ①わかりやすかった(10人) ②ふつう(30人)
③わかりづらかった(3人) 未回答(12人)

(意見交換内容は) ①よかった(24人) ②ふつう(13人)
③よくなかった(4人) 未回答(14人)

※ 今後、市民との意見交換会について改善すべきことがあればお書きください。

- ・発言の時間は一人当たりの時間を決め、冗長にならないようにしたほうがよい。
- ・文化センターでは、今までは昼が多いので夜があってもよい。
- ・お互いに意見交換ができていたと思う。
- ・報告内容が短すぎてわかりづらかったので、もう少し詳しく話してほしい。
- ・議員と参加者の距離を近くして、話しやすくしたほうがよい。
- ・全議員が出席してやってほしい。
- ・最初から予定時刻を設定しないほうがよいと思う。
- ・市民の発言が長すぎて多くの意見が聞きたかった。
- ・発言は短く、答弁も短くわかりやすくしてほしい。

- ・対座の方式は悪いと思わないが、参加者間の共有できる雰囲気があればいいと思った。車座とかはどうか。
- ・若い人が多数参加して意見を発言できる環境整備が必要だと思う。
- ・議員が本当に市民の意見を聞いているのか疑問だ。毎年実施しているのであれば良くなっているのではないか。困っているのは市民なので市民の生活を考えてほしい。
- ・年寄だと補助支援やお金が必要との意見になってしまいうし聞きづらい。

問5 議会だよりはお読みになりますか？

- ①毎回読んでいる（37人） ②たまに読んでいる（15人） ③読まない（3人）
未回答（0人）

問6 議会ホームページはご覧になりますか？

- ①よく見ている（8人） ②たまに見ている（27人） ③まったく見ない（9人）
④見方がわからない（4人） ⑤見る手段がない（6人） 未回答（1人）

問7 議会中継（同時中継、録画中継を含め）はご覧になったことがありますか？

- ①よく見ている（5人） ②たまに見ている（17人）
③まったく見ない（20人） ④見方がわからない（6人）
⑤見る手段がない（7人） 未回答（0人）

問8 議会を傍聴したことがありますか？

- ①傍聴したことがある（20人）（平均2.2回程度）
②傍聴したことがない（34人） 未回答（1人）

問9 議会に対してご意見等があれば、自由にお書きください。

- ・議会中継をYouTubeで見られるのはいいが、もっと高画質で視聴したい。240Pでは見るのも聞くのもつらい。
- ・駅前の活性化をお願いしたい。
- ・一般質問に対する市の回答にもう少し突っ込んでの再質問が必要だと思う。再質問は法律や条例との整合性等を掘り下げたらいと思う。
- ・若い人達が自分も議員になって将来の名寄を築いていこうと思えるような魅力ある活動をしてほしい。
- ・市民の生活に寄り添った議会、議員であってほしい。
- ・無投票であっても選良だ。活躍を期待している。
- ・党派を超えて市政に対応してほしい。市長の応援団だけはやめてほしい。
- ・市民のために一生懸命の活動をお願いしたい。名寄市発展のために期待している。